



# 成隣だより

平成27年12月1日  
第8号  
昭島市立成隣小学校  
校長 長野 基

## 前進のためのリフレクション

校長 長野 基

11月の学習発表会には多数ご来校いただきまして、誠にありがとうございました。発表が終わった瞬間の子供たちの満足そうな表情にとても感激しました。運動会が終わってから、短い期間でよくぞあそこまで仕上げたものだと、子供たちの努力、保護者の皆さんの協力に感謝するばかりです。もちろん担任は夏休み期間に構想を練り上げ、運動会後にすぐ取りかかれるように準備をしました。それは、子供たちのあの表情を見たいという一心でした。保護者の皆様からお寄せいただいたアンケートにも、感動の一言がたくさんありました。2年に一度の大きな行事で多くの人達に感動を与えてくれる学習発表会は、これからも大切にしていこうと思います。

さて、12月に入り2学期の終わりが近づいてきました。2学期の終わりというのは一年の終わりということもあり、どこの家庭でも一年の振り返りをして、新年に向けて決意をしたいと思います。子供たちも4月以来日々成長してきました。教師だから見える成長があれば、保護者だからこそ見える成長もあると思います。ところが子供たちは毎日楽しく過ごすだけで、意外と自らの成長を自覚してないのです。ここに大きな問題があります。

どんなことに対しても、意欲や挑戦する心、または充実感や自己実現というものは、自らの成長を自覚するからこそ前進する気持ちにつながるのです。4月からの自分自身のことを振り返ったときに、“ぼくはこれができるようになった。” “私はこんなことが分かるようになった。” “今まではこんな傾向があったけど、今はこんな風に考えられるようになった。”

という具合に、自分の変化したことや進歩したことを言えますか。自分の変化や成長を知らなければ、次に自分が何をすれば良いか分かりません。大人も子供も同じですが、自分がどのように成長したかを知ることはとても大事なことです。先にも述べましたが、子供はその日その日を楽しみ過ごすことで精一杯のため、自分の成長に気付いていないことがほとんどです。

2学期を終えようとしているこの時期、学校では担任から一人一人に成長した点を伝えます。それぞれのご家庭では、保護者の目から見た子供の成長について伝えてあげてください。4月からの9か月間の振り返りを今の時期にきちんとすることで、3学期への準備となり、さらに新しい学年への進級・進学準備となります。

学校でも、学校評価という形で今年度の振り返りをし始めたところです。4年生以上の児童および保護者の皆様には、すでにアンケートを実施させていただきました。

新しい年度に向けて準備するためには、今の時期のリフレクション（内省）が必要です。自分がやってきたことをしっかり見つめ直して、自分自身の成長と課題を明らかにすることで、その次の段階へ進むことができます。『前進するためのリフレクション』を、ぜひご家族で行ってみてください。皆様ご健康に留意され、良い年をお迎えください。

